

# テレワークの効果検証はできていますか

## ー 生産性向上の鍵とは ー

最近、ネット上では「テレワークでの上手なサボり方」などというふざけた記事が多く見られます。長引くコロナ禍で、テレワーク（新しい働き方）の“定着”というより、マンネリ状態になっている危険さえ感じられます。

そもそも、現在テレワークを導入している企業の63.7%は、感染症対策がきつかけだそうです（厚労省調査）。だとすれば、“緊急事態”で、慌ただしくテレワークを導入した企業もあるでしょう。しかし、すでに1年以上経過し、もはや“緊急”ではなく“常態”といえる今、その効果検証はできているのでしょうか。

厚労省の調査で人事担当者が感じている「テレワーク導入による効果」は？

- 1位：従業員の負担軽減（通勤のストレス等）
- 2位：災害時の事業継続性の確保
- 3位：離職防止（家庭生活との両立による安定）

以上のような効果を認めたからなのか、コロナ後もテレワークの継続を検討している企業は90%もあるそうです（毎日新聞調査）。しかし、景気の先行きも不透明な状況下で、検証すべき効果として欠かせないのは「生産性の向上」ではないのでしょうか。

テレワークにおける「生産性向上」の鍵は何でしょうか。機器等の環境整備、管理者のマネジメント体制等々いろいろ考えられますが、必要不可欠なことは「自己管理能力」ではないのでしょうか。「上手なサボり方」がネット上に多く見られるのは、まさに長期化した「自分で自分を管理」することに疲弊してきた証拠とも言えます。

そこで弊社では、「テレワーク従事者のための自己管理能力強化研修」をご提案しております。特に、今後もテレワークの継続を検討している企業にお勧めいたします。内容は、貴社の個別事情を十分にコンサルティングさせていただき、オリジナルなカリキュラムを作成・実施いたします。また、集合形式に限らず、オンラインによる研修も可能です。

### カリキュラム例

1. テレワークの効果検証、振り返り
2. 求められる成果は何か（自部門の方針確認）
3. 生産性向上の鍵とは
4. 自己管理能力を低下させる落とし穴
5. 自己管理能力強化のポイント
6. テレワークの自己ルール作成 etc.

興味・関心のある方は、まず下記から是非ご相談下さい。ご相談・仮提案は無料でさせていただきます。



> お問い合わせはこちら